【評価シート】令和5年度 企業版ふるさと納税対象事業実績

	事業名	事業費(千円)	寄附額 (千円)	差額 (千円)	主な具体的事業	事業概要	重要業績評価指標 (KPI)	当初值 R1	単位 ├	₹5目標 ₹5実績	達成度	令和5年度の取組状況	実績値を踏まえた今後の取組み・事業展開	担当課
1	渡良瀬遊水地の湿地 保全と賢明な利用推進 事業	(R5) 14,819	(R5) 1,000	(R5) 13,819	渡良瀬遊水地の観光地化推進事業	渡良瀬遊水地の自然環境や伝統 文化を活用し、「コウノトリ交流館」 を拠点としたエコツーリズムの推進 等により、観光地域化と誘客を進 め、交流人口の増大を図る	渡良瀬遊水地、周辺地区来訪者数	18,000	A	26,000	A	・野鳥観察と調査の集い 春期 R5.5.21(日)4名 ・ヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦 1,350 人 ・バードカービング講座 R5.07.06(土)参加者1名 ・ツバメのねぐら入り観察会 R5.8.5(土)開催 参加者47人 ・夕涼み会 R508.19(土)開催 参加者100人 ・渡良瀬遊水地のヨシ灯り2024	2日間開催を予定していたヨシ灯りは荒天のため1日のみの開催となったが、イベントの認知度が向上したことから1,100人の集客があった。令和6年度のヨシ灯りは小山市会場を計画しており街中で行うため昨年より多くの集客が期待できる。ヨシに親しみ、遊水地への関いにつなげ交流人口創出に結び付けたい。またコウノトリ交流館の展示スペースを室内作業しやすいレイアウトに変更した。ヨシ灯り作りなどの制作体験や簡単な打合せができるようになったのでコウノトリ交流館の活用を広げていきたい。	ン・ネイ チャーポジ ティブ推進 課
2	軽度生活援助事業	(R5) 2,822	(R5) 1,500	(R5) 1,322	生活支援体制整備事業	在宅での自立した生活の継続及び 要介護状態に進行しないよう軽易 な日常生活の援助を行う		23.3		13.2	В	コロナの影響により、自治会等の集まりが開催されず、支え合いの必要性等PRが難しい現状にあったが、おやまテレビを活用して活動に取り組んでる自治会の紹介や、「小山市見守り・支え合い推進補助金」について市内全自治会を宛に個別に通知を行い、周知については各高齢者サポートセンターに配置された生活支援コーディネーターを紹介し、各々の自治会で取組めそうな活動について一緒に検討し支援を行った。R3年度までは、見守り・支え合い推進補助金について検討している自治会も計上していたが、R4年度からは、「見守り・支え合い推進補助金」を実際に申請した自治会に絞り計上。(R5.4月現在自治会数250)	7月だったが、話し合いの期間を考慮し12月末日までに延長する。 見守り活動について活動を始めようとする自治会については、各地域包括支援センターの生活支援コーディネーターが、各地域の特徴やすでにある資源について住民と情報交換・共有・交流を行いながら、課題に対して誰がどのような形で無理なく支援できるか、一緒に考え見守り・支援体制を構築していく。また、各地域での取り組みについてテ	高齢生きが い課
3	在宅寝たきり老人介護手当事業	(R5) 16,350	(R5) 1,500	(R5) 14,850	生活支援体制整備事業	在宅のねたきり高齢者または認知 症高齢者を常時介護している方に 介護手当を支給する事業		23.3	%	13.2	В	コロナの影響により、自治会等の集まりが開催されず、支え合いの必要性等PRが難しい現状にあったが、おやまテレビを活用して活動に取り組んでる自治会の紹介や、「小山市見守り・支え合い推進補助金」について市内全自治会を行った。取り組みたい意向がある自治会については各高齢者サポートセンターに配置された生活支取組めそうな活動について一緒に検討し支援を行った。R3年度までは、見守り・支え合い推進補助金について検討している自治会も計上していたが、R4年度からは、「見守り・支え合い推進補助金」を実際に申請した自治会に絞り計上。(R5.4月現在自治会数250)	7月だったが、話し合いの期間を考慮し12月末日までに延長する。 見守り活動について活動を始めようとする自治会については、各地域包括支援センターの生活支援コーディネーターが、各地域の特徴やすでにある資源について住民と情報交換・共有・交流を行いながら、課題に対して誰がどのような形で無理なく支援できるか、一緒に考え見守り・支援体制を構築していく。また、各地域での取り組みについてテ	高齢生きが い課
4	シティプロモーション推 進事業	(R5) 3,711	(R5) 2,300	(R5) 1,411	小山市に関わりを	シビックプライドの醸成と関係人口の創出拡大を図るため、小山市との関わりの契機としてファンクラブへの入会を促し、更なる関わりを 創出する		1,113	X	4,000 3,369	A	3月15日/小山市ファンクラブ通信「Oyama Fan vol.3」発行 「コウノトリと渡良瀬遊水地と自然」「小山でカフェさがし」「小山で一泊~思川温泉~」など小山の旬な情報を盛り込み、ファンクラブ隊員向けにさらなる小山の魅力の発信を図った。	称)」制度を開始する。ファンクラブ隊員に は、ファンクラブの解散及び「おやまアンバ	推進課